

報告第7号 富山地鉄宇奈月温泉駅バリアフリー化整備事業について

1. 宇奈月温泉駅の概要と現状

【駅の概要】

- ・富山地方鉄道本線の終点駅である。
- ・一日平均1,058人の乗降（平成27年度）。
- ・一日30～35便が発着。電鉄富山や立山との特急が運行する。
- ・新黒部駅（北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅に隣接）との所要時間は最速で16分。

【構造】

- ・橋上型駅舎で1面2線の島式ホーム
- ・エレベーターがなく、階段の昇降が必要

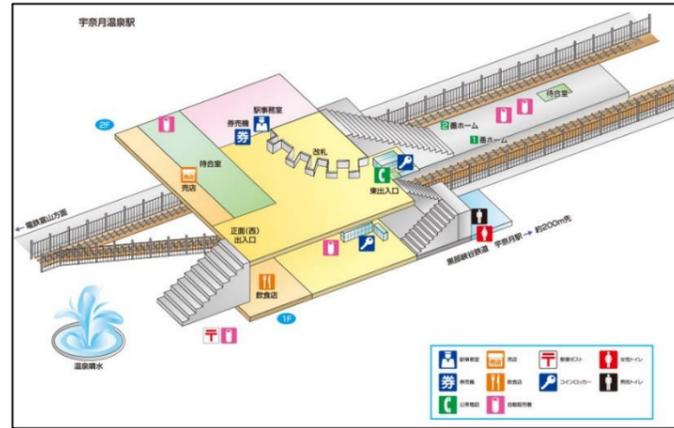


図 宇奈月温泉駅正面階段（正面・西出入口）



図 宇奈月温泉駅 ホームから階段方向を見る



図 宇奈月温泉駅構内に設置された足湯（ホーム内）



図 多言語対応が必要なサイン

【現状】

富山地方鉄道宇奈月温泉駅は、公共交通を利用して来訪する多くの観光客にとって重要な交通拠点であるが、エレベーターの無い橋上駅舎であり、宇奈月温泉街から駅舎、駅舎からホームへのアクセスは階段に限られていることから、観光客をはじめ、高齢者や障害者等、誰もが利用しやすい環境とは言えない。また、多言語表記が不十分であることから、外国人観光客に対して不便な駅となっている。

このようなことから、当駅のバリアフリー化が急務となっている。

2. 宇奈月温泉駅バリアフリー化に向けた経緯

時期	経過
平成27年4月	・黒部市地域公共交通網形成計画を策定し、宇奈月温泉駅及びその周辺のバリアフリー化促進を位置付け。
平成27年度	・北陸信越運輸局から助言を受けながら、新たな補助制度に関する情報収集を進める。また、宇奈月温泉駅バリアフリー化（エレベーター設備の設置）に関する基本設計を実施。（平成27年12月補正） ・バリアフリー化促進に向けた基礎調査を実施。
平成28年4月26日	・第17回黒部市公共交通戦略推進協議会で上記調査結果を報告。
平成28年6月23日	・富山県知事が観光庁長官へ要望。
平成28年7月	・国からの予算採択要望調査（平成28年度補正への前倒し）に対し、設計及び整備要望を提出（提出者は富山地鉄株）。
平成28年8月	・黒部市が重要要望として、富山県及び国土交通省へ要望。
平成28年9月5日	・富山県知事政策局長が国土交通省鉄道事業課長、駅機能高度化推進室長及び観光庁担当参事官へ要望。
平成28年9月30日	・市長、市議会議員、富山地鉄社長及び宇奈月温泉自治振興会長が国土交通省鉄道局長へ要望。
平成28年12月27日	・国土交通省から富山地方鉄道(株)へ補正予算による補助金の採択についての内示

3. 今後の整備方針について

平成27年度に作成した基本設計に基づき、今後、宇奈月温泉駅バリアフリー化の実施設計を行い、順次、整備を進めることとしている。事業費は、国、事業者及び地方自治体がそれぞれ3分の1ずつ負担することとなり、地方自治体の負担分については、富山県、黒部市でそれぞれ半分ずつ負担することとなる。

4. 事業費の負担割合（概算）について

総事業費：169,000千円（実施設計：8,000千円、E V等整備：161,000千円）

（単位：千円）

	想定負担割合	事業費	実施設計費	E V等整備費	
国	1/3	56,332	2,666	53,666	
事業者（地鉄）	1/3	56,336	2,668	53,668	
自治体	富山県	1/6	28,166	1,333	26,833
	黒部市	1/6	28,166	1,333	26,833
合計		169,000	8,000	161,000	

5. 宇奈月温泉駅バリアフリー化に係るEV設置予定位置図

